

編集部注)

わずか3ヶ月の間に、痛ましい虐待事件が3件報道がされました。いずれも、母親の同棲相手、あるいはそれに母親が加わったと伝えられています。離婚後に、父親と子どもとの定期的な面会交流ができていれば、防げただろうと推測できる事件です。

平成23年(2011年)2月7日 月曜日

3歳長男を虐待疑い

手足にロープ、母親ら逮捕

芦屋

約20時間にわたり、ダンベルを付けたロープを手足に縛り付けて長男(3)にけがをさせたとして、兵庫県警芦屋署は6日、傷害の疑いで、母親で無職の永井ルリ子容疑者(30)―芦屋市伊勢町―と、内縁の夫で会社員の金子信也容疑者(45)―

同―を逮捕した。芦屋署によると、永井容疑者は「けがはさせたが、しつけのためだった」と一部容疑を否認している。

逮捕容疑は4日午後10時ごろから5日午後6時半ごろにかけて、片端に10キロのダンベルを付けたロープを長

男の両手首、両足首に縛り付けたまま自宅の寝室に放置。長男に皮下出血など、約1週間のけがをさせたとしている。

芦屋署によると、両容疑者は「台所を歩き回って物を食べたり、机にあるものを落としたりして危ないと思いい、仕方なく何度かしつけをした」と供述。同署は日常的に虐待していた疑いがあるとみて詳しく調べる方針。